■水循環

水循環

計画目標 ・雨水の浸透等によって水の良好な循環構造が保たれていること

・水資源が大切に利用されていること

現状

■指標:湧水地(2000年現在の湧水地の確保を図る)

1991 年から 1997 年の湧水地の資料を基に、 2000 年度に 98 か所の湧水地を調査した結果、約 40%の湧水地が枯渇又は消失していました。

2003 年度に、多摩川水系の台地・丘陵地を調査したところ、199 か所の湧水地を確認、2004 年度に鶴見川水系で252 か所の湧水地を確認できましたが、調査では、自噴したり、河川の水源を形成したりする湧水は少なく、崖にたれているような、いわゆる「しぼり水」程度の湧水が多く見られます。



■指標:市民一人当たりの家庭用水使用量 (2000 年現在の使用量より減らすことを目指す) 市民1人1日当たり水使用量は、1995 年度をピークに減少傾向が続き、2007 年度が 244 リットルと前年比で1,2%の減少となり、2000 年度比では約7.5%の減少となりました。

年度別 生活用水の1人1日当たり水使用量

年	度	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007
使用量(L	_/日/人)	264	260	259	250	250	248	247	244

■指標:公共施設等における身近な水資源の利用件数(2000年現在の件数より増やすことを 日指す)

雨水を貯留し、トイレ洗浄水等として利用する設備を 1992 年度から 2007 年度までに小中学校 4校に導入したほか、多摩区役所総合庁舎、川崎病院、多摩病院、北部リハビリテーションセンター・百合丘老人いこいの家の計 8 施設に中水道システムを導入しています。

中水道システム

雨水や炊事、風呂の排水を浄化処理し、水洗便所、散水等に再利用するシステム。

主な施策の概要

	0007 (元子10) 左六六/4	0000 (5 + 00) + + 1 - 1
具体的施策名	2007(平成 19)年度実績	2008(平成 20)年度計画等

Ⅲ-4-1 水循環構造の保全

Ⅲ-4-1-1 雨水の利用・浸透の促進

透水性翻装
河川への雨水流出抑
制、地下水の涵養や街路
樹の保護育成を図るた
め、雨水の一部を地下に
浸透させることができ
る道路等の舗装。

雨水浸透

雨水が地表から地中 に浸入する現象を「雨水 浸透」といい、その速度 又は能力を「雨水浸透 能」という。コンクリー ト化された道路等は浸 透能が低く、雨水が浸透 せず流出する。一方、農 地(畑地)、樹林地等は、 浸透能が高い。また、積 極的な雨水浸透を図る 施設を「雨水浸透施設」 といい、浸透マス、浸透 トレンチ、透水性舗装等 がある。

調整池

開発事業の実施による雨水流出量の増大がもたらす下流河川等への影響を軽減するため、大雨の際に、一時的に雨水を貯留し、調整しながら放流する施設。

歩道や公共施設等の整備における積 極的な透水性舗装等の導入	□透水性舗装を採用した公共施設数、施工 面積 (2007 年度)	□透水性舗装を採用した公共施設 ・東生田小学校		
[ま:施設計画課、建:道路整備課]	: 22 か所(+3 か所)、5.450 ㎡	・御幸小学校		
	・ 東門前小学校	・新城小学校		
	・はる()野小中学校	· (仮称) 有馬野川地区牛涯学習		
	・北部リハビリテーションセンター・百	机点施设		
	合匠者人いこいの家	□透水性舗装の導入促進		
	□透水性舗装を採用した施工面積(累計)	・透水性舗装施工計画面積(公共施		
	・透水性舗装施工総面積(歩道)	設): 3.491m ²		
	:339,474m ² (+21,609m ²)	ux) (3, 10 1111		
家屋、公共施設等への雨水浸透ますの	_	_		
設置の促進				
[建:計画課]				
大規模開発における雨水の浸透機能	□指導件数、設置面積	□予定		
を有する調整池、雨水浸透施設等の設	・雨水流出抑制施設	雨水流出抑制指導基準等に基づく		
置の促進	多摩川水系 指導件数:60件、	指導を継続実施		
[建:河川課]	貯留量:13,324m ³	特定都市河川浸水被害対策法に基		
	鶴見川水系 指導件数:65件、	づく雨水浸透阻害行為の許可業務の		
	貯流量:8,111m ³	実施		
	・浸透性緑地 指導件数:48件、			
	面積:14,554m ²			
	・透水性舗装 指導件数:20件、			
	面積:12,923m ²			
公共施設や民間施設における雨水貯	□指導件数、年間貯留量	□予定		
留施設等の設置の推進	・公共施設における雨水貯留施設	・御幸小学校		
[建:河川課、ま:施設計画課]	整備件数:4 件、貯流量:1,125m ³	・東門前小学校		
	(橘中学校、はるひ野小中学校、中原			
	消防署、北部リハビリテーションセ			

Ⅲ-4-1-2 地下水流動の確保

合的な施策の推進

「環:環境対策課]

地下水保全計画に基づく、計画的、総 口取組状況

	地下空間の開発における地下水脈の	□指導件数:一	□予定
	分断の防止に係る指導の実施	工事による地下水影響防止技術指針作成	引き続き検討
	[環:環境対策課/環境評価室]	に向けた検討	

ンター・百合丘老人いこいの家) ・民間施設における雨水流出抑制指導 指導件数:117件、貯流量:17,592m³

「川崎市地下水保全計画」に基づき、「地

下水保全計画推進委員会」を開催し、委員

相互の協力により、健全な水循環の保全を

・湧水地周辺整備1か所

推進している。

口予定

・地下水保全計画推進委員会におい

水循環の保全を推進する。

・湧水地周辺整備を継承する。

て、委員相互の連絡を図り、健全な

P 14 14 15 15	2007(平成 19)年度実績	2008(平成 20)年度計画等
具体的施策名	2007(平成 19)年度実績	2008(平成 20)年度計画等
大作的地名名		1 2000 (十)及20/ 十)及可图书

Ⅲ-4-2 水資源の適正利用

Ⅲ-4-2-1 水資源の適正利用

水資源の有効利用についての普及啓 発による節水行動の促進 [水:総務課]	□普及啓発状況 ・水の週間行事の開催(かなかわの水資源展) ・水道局営業所で節水コマを有償で提供	□計画 ・かながわの水資源展の開催 ・水道局営業センターで節水コマを有 償で提供
公共建築物における雨水を利用した中水道システムの導入や地下水の利用の推進 [ま:施設計画課]	□システム導入件数◇中水道システム:8か所(+2か所)・小中学校4校(1992年度~)、・はるひ野小中学校、北部リハビリテーションセンター・百合丘老人いこいの家	◇中水道システム ・予定なし